

2024年1月31日

各 位

株式会社三井住友銀行

川崎重工業株式会社への「サステナビリティ・リンク・ローン」の組成について

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：福留 朗裕）は、川崎重工業株式会社（代表取締役社長執行役員：橋本 康彦/以下、「川崎重工」）に対し、サステナビリティ・リンク・ローン（以下、「本ローン」）を実施いたしました。

サステナビリティ・リンク・ローンは、借り手のサステナビリティ戦略と整合したサステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット（以下、「SPTs」）を設定し、貸出条件と SPTs に対する借り手のパフォーマンスとを連携させ、SPTs 達成への動機付けを与えることで、環境的・社会的に持続可能な経済活動及び経済成長を促進し、支援することを目指すものです。

川崎重工は、1896年に創立された総合重工業であり、航空宇宙システム事業、車両事業、エネルギーソリューション&マリン事業、精密機械・ロボット事業、パワースポーツ&エンジン事業を展開し、各カンパニーが有する高い技術力のシナジーを活かした、新たな価値を有する多様な製品・サービスを提供しています。

川崎重工は、2021年7月のサステナビリティボンドの発行を皮切りに、環境・社会の持続可能性に貢献する資金調達を実施しています。同社は、これらサステナブルファイナンスを積極的に活用することで、グループビジョン2030「つぎの社会へ、信頼のこたえを ~Trustworthy Solutions for the Future~」の実現に向けたサステナビリティ経営の取り組みを加速させるとともに、ステークホルダーとのエンゲージメント強化に努め、SDGs 達成に向けた貢献と持続可能な社会の実現を目指しています。2023年11月には、6種類のサステナブルファイナンス（グリーン、トランジション、トランジション・リンク、ブルー、ソーシャル、サステナビリティ・リンク）での調達を網羅するマスターフレームワーク（以下、「本フレームワーク」）を策定しており、あらゆるサステナブルファイナンスに対応できる体制を構築しました。本ローンは、本フレームワークで掲げる以下のSPTsを活用し、達成への動機付けとして、SPTs の達成度合いに応じて金利条件が連動する貸出条件が設定されています。

(SPTs)

2028/3月迄に商用化実証大型液化水素運搬船1隻の建造完了

尚、本フレームワークは、第三者評価として株式会社日本格付研究所（JCR）より、「クライメート・トランジション・ファイナンス・ハンドブック」、「クライメート・トランジション・ファイナンスに関する基本指針」、「サステナビリティ・リンク・ボンド原則」、「サステナビリティ・リンク・ローン原則」、「サステナビリティ・リンク・ボンドガイドライン」及び「サステナビリティ・リンク・ローンガイドライン」において求められる項目について基準を満たしているとの評価を得ています。

株式会社三井住友銀行では、お客さまのサステナビリティ経営に向けたソリューションの提供や対話を行い、持続可能な社会及び市場の形成にも一層貢献を行ってまいります。

【本ローンの概要】

契約締結日	2024年1月29日
実行日	2024年1月31日
契約金額	45億円
契約期間	5年
貸付人	株式会社三井住友銀行

(参考)

川崎重工業株式会社ホームページ：
<https://www.khi.co.jp/>をご参照下さい。

川崎重工業株式会社 マスターフレームワーク：
https://www.khi.co.jp/pressrelease/detail/20231130_1.html をご参照下さい。

株式会社日本格付研究所（JCR）による評価結果の詳細：
<https://www.jcr.co.jp/greenfinance/>をご参照下さい。

以 上

【本件に関するお問い合わせ先】
サステナブルソリューション部
TEL：03-4333-6967

このお知らせは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。